みんなが笑顔になれる場所
「雲仙市子どもの遊び・学び場いこいこ」がオープン！



天候に左右されず、子どもたちが思い切り体を動かしたり、様々な体験を通して学んだりできる場所が雲仙市に誕生しました。令和8年7月5日にオープンした「雲仙市子どもの遊び・学び場いこいこ」をご紹介します。

施設の開設経緯

雲仙市では、令和3年度から「全天候型の子どもの遊び場」の整備について検討を進めてきました。そして令和7年度、みずほすこやかランド内にあった旧ヘルシー会館の改修工事が完了。装いも新たに、子どもたちや保護者の笑顔があふれる遊びと学びの拠点として生まれ変わりました。

コンセプトへの思いと名称の由来

「いこいこ」という名称には、「行こう」と「憩う」という2つの言葉が掛け合わされています。子どもたちが自ら「行きたい！」と思えるような、そして家族みんなでホッと「憩える」空間であってほしいという願いが込められています。

また、施設のコンセプトは「〝学び〟・〝つながる〟・〝豊かな心〟」を掲げ、子どもたちが遊びや体験を通して他者と交流し、コミュニケーション能力を育み、また、子育て世代の皆様も互いに交流し、気軽に相談できるなど、大人もほっと一息できる空間となるよう「いこいこ」自体も施設として成長していきたいと考えています。

施設のこだわりポイント

大型遊具はありませんが、遊具やレクリエーションなどを通じて利用者同士が一緒に遊ぶなど、コミュニケーションを図るよう意識しています。

館内は、子どもたちの興味や発達に合わせて様々なエリアに分かれています。

●動の空間

基礎的な運動ができるスペースや、雲仙の山をモチーフにした段差のある空間で思い切り体を動かせます。

●静の空間

おままごとやブロック、温かみのある木のおもちゃが揃っています。

●すくすくスペース

小さな子どもが遊べるスペース、木のボールプールもあります。

このほか、ものづくりスペース、交流スペースなどもあり、ものづくりやプログラミング体験などのワークショップも定期的に開催しています。

安全について

本施設は、あえて「安全な施設」を掲げておりません。屋内だからといって安全とは限らないからです。子どもたちが「どうやったら安全に遊べるか」を自ら工夫し、危険を乗り越える経験こそが、成長において大変重要であると考えています。安全について子どもや保護者が一緒に考え、子どもたち自身が自分を守る、他者を守るきっかけを作るとともに、保護者の皆様、そしてスタッフが一緒になって温かく見守り、時には遊びのマナーを学びながら、まわりの人々を思いやる豊かな心を育んでほしいと願っています。



〈動の空間〉



〈静の空間〉



〈木のボールプール〉

最後に

いこいこは、子どもたちや保護者等利用者の笑顔であふれ「みんなで子どもたちに関わり、子どもたちの生きる力を育む拠点」を目指しています。

昭和の時代、あちこちにあった「空き地」は、子どもたちにとって格好の遊び場であり、地域住民にとっても自然な交流を生む場所でした。

ここに来たら誰かに会えて、スタッフも関わって一緒に遊んで、保護者同士も交流して子育ての合間にふっと心がほぐれる――。

〝屋根付きの空き地〟いこいこへ、みなさまのお越しをお待ちしています。

利用案内

住　　所：雲仙市瑞穂町西郷辛 621 番地 7（みずほすこやかランド内）
開館時間：午前 10 時～午後 4 時
休 館 日：毎週火曜日・水曜日、年末年始（12/29 ～ 1/3）
　　※上記に関わらず臨時開館、休館の場合があります。
利 用 料：無料（小学生以下は保護者同伴）
　　※団体利用の場合は事前にご連絡願います。
お問い合わせ：0957-73-6412

